

# Periodontology and Endodontology

1 unit 4th-year(1st semester)

Toshihiko Nagata · PROFESSOR / PERIODONTOLOGY AND ENDODONTOLOGY, COURSE IN DENTISTRY, Keiji Oishi · ASSOCIATE PROFESSOR / PERIODONTOLOGY AND ENDODONTOLOGY, COURSE IN DENTISTRY

Masami Ninomiya · ASSISTANT PROFESSOR / PERIODONTOLOGY AND ENDODONTOLOGY, COURSE IN DENTISTRY, Seiji Nishikawa · PART-TIME LECTURER / 西川歯科クリニック

**Target)** 歯周治療の種類と内容を理解するとともに再生治療を含めた今後の展望について学習する。  
根尖性歯周組織疾患の病因と病態を理解するとともにそれらの治療法について学習する。

**Outline)** 歯周治療について理解し、治療法の現状と将来展望について明確に理解する。  
根尖性歯周組織疾患がどういうものか理解するとともに、その治療法の概要を修得する。

**Style)** Lecture

**Manner)** 講義型式 板書、プリントに加え、適宜、提示装置、スライド、ビデオ、パソコンを利用する。

**Location)** 第4講義室

**Theme)** 歯周病(歯肉炎、歯周炎)の病態と治療  
根尖性歯周疾患の病態と治療

**Keyword)** 歯周病, 歯内疾患

**Fundamental Lecture)** “Periodontology and Endodontology”(1.0)

**Goal)** (<>内はコアカリ対応)

1. 歯周組織再生療法について説明できる。 <F-3-3)-(3)-③,④,⑤>
2. 薬物療法およびメンテナンスについて説明できる。 <F-3-3)-(3)-②>
3. 歯周治療後の治癒像および合併症について述べることができる。 <F-3-3)-(3)-⑤>
4. 根尖性歯周組織疾患の病因と成り立ちについて説明できる。 <F-3-3)-(2)-①,③>
5. 根尖性歯周組織疾患の種類、症状、診査法、診断法について説明できる。 <F-3-3)-(2)-①,③,⑤,⑦>
6. 根尖性歯周組織疾患の治療法(含む救急処置)を説明できる。 <F-3-3)-(2)-③>
7. 感染根管における根管形成法、根管治療法を説明できる。 <F-3-3)-(2)-①,②>
8. 歯内外科処置について説明できる。 <F-3-3)-(2)-①>
9. 歯内歯周病変について述べることができる。 <F-3-3)-(2)-①,③,⑤>

10. 根尖性歯周組織疾患の治療時における偶発症に <F-3-3)-(2)-④> 関して説明できる。

**Schedule)**

大項目	中項目	内容	到達目標	担当	
1.	歯周治療の実際	歯周組織再生療法	GTR法, 成長因子	1	二宮
2.	”	薬物療法, メンテナンス	LDDS, 抗生物質療法, メンテナンスの意義	2	”
3.	歯周治療の予後	歯周治療後の治癒像及び合併症	象牙質知覚過敏症, 歯肉退縮など	3	永田
4.	歯周病の病態(復習)	慢性歯周炎と侵襲性歯周炎	両者の鑑別診断, 治療, 予後	”	”
5.	症例示説	歯周治療のまとめ	歯周基本治療, 歯周外科治療, 歯周組織再生療法の実際	1-3	西川
6.	ペリオドンタルメディスン	全身疾患と歯周病	糖尿病と歯周病	”	永田
7.	根尖性歯周組織疾患	根尖性歯周組織疾患の成因と種類	根尖病巣の成立機転, 種類, 症状	4	”
8.	”	根尖性歯周組織疾患の診査と診断	診査法, 鑑別診断法	5	”
9.	”	根尖性歯周組織疾患の治療法	急性症状への対応, 感染根管治療	6	大石
10.	”	”	根管形成法,	7	”
11.	”	”	根管治療薬, 根管充填法	”	”
12.	”	”	歯内外科治療	8	”
13.	”	”	歯周歯内病変, 偶発症	9,10	”
14.	症例示説	根尖病巣の治癒	感染根管治療, 歯内外科処置	4-10	永田
15.	総括	歯周歯内治療の将来展望	Q and Aによるまとめ	1-10	”

**Evaluation Criteria)** 全講義終了後、筆記試験を行い総合的な理解度を評価する。100点満点で60点以上を合格とする。なお、歯科保存学(2)の単位は歯科保存学(2)A・B講義および歯科保存学(2)実習の全科目の成績を総合評価して認定する。

**Re-evaluation)** 1回のみ行う。

**Textbook)**

- ◇ 参考書: 「臨床歯周病学」初版, 医歯薬出版, 2007
- ◇ 参考書: 「ザ・ペリオドントロジー」初版, 永末書店, 2009
- ◇ 参考書: 「プログレッシブテクニク・臨床医のための歯周治療」初版, 永末書店, 2001
- ◇ 参考書: 「エンドドンティクス 21」初版, 永末書店, 2000.

**Contents** > <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217303>

**Contact**

- ⇒ Nagata (+81-88-633-7343, [nagata@dent.tokushima-u.ac.jp](mailto:nagata@dent.tokushima-u.ac.jp)) [MAIL](#) (Office Hour: (月~ 金18:00~ 19:00/3F 2保存・教授室))
- ⇒ Oishi (+81-88-633-7344, [ohishik@dent.tokushima-u.ac.jp](mailto:ohishik@dent.tokushima-u.ac.jp)) [MAIL](#) (Office Hour: (月~ 金18:00~ 19:00/3F 2保存・第2研究室))
- ⇒ Ninomiya (+81-88-633-7344, [ninomiya@dent.tokushima-u.ac.jp](mailto:ninomiya@dent.tokushima-u.ac.jp)) [MAIL](#) (Office Hour: (月~ 木18:00~ 19:00/3F 2保存・第2研究室))